

市役所本庁舎 および市民会館の 建設再入札に向けて

これまでの経緯

市役所本庁舎および市民会館建設事業の施設規模・機能については、市民説明会、パブリックコメント、広聴サポーターアンケート、市民ワークショップ、および市民会館ホール等利用団体懇談会など多数の市民の方々のご意見を踏まえ、「市民会館ホールは機能を充



外観イメージ

実させ、庁舎は防災機能を備えながらも面積はコンパクトに」としたコンセプトのもと、本年の2月に実施設計を完成させました。

4月・5月の市民説明会では、完成した実施設計の内容と、必要な機能は保ちながらもコスト削減し、建設の全体事業費については、約58億円とする建設事業計画を説明しました。

建設工事については、4月に告示を行い、5月に入札を行いました。残念ながら、入札価格が予定価格を上回り、落札には至らない状況となつてしまいました。

市としましては、直ちに入札不落の原因を検証するとともに、建設物価の上昇が収まるまでの期間、工事を延期することとしました。

入札不落への対応と その後の状況

入札不落の主な原因については、建設物価の急激な上昇による、実勢価格の高騰が考えられます。

それにより、工事発注時点の建設単価を基にした予定価格と入札価格の差が大きくなり、落札に至らなかったものと考えています。

全国その他自治体等の工事入札状況も、このようなことが原因で、1回目の工事入札で契約成立したものは少ない状況となっています。建設物価については、専門紙等

の情報では、高止まりの状況ではあります。昨年から急激な上昇は鈍化するものと予想されています。

5月の入札不落以降、工事を延期としたことで、市民の皆さまからは様々な声をいただきました。

市報9月号でも掲載しましたが、市役所本庁舎等建設市民会議、市民ワークショップ、および市民会館ホール等利用団体懇談会の皆さまからは、「早期着工をお願いする。」「合併特例債の活用を有効に図る。」「防災拠点としての庁舎の実現を早期に目指して欲しい。」などのご意見をいただきました。

また、市議会会派をはじめ秩父商工会議所からも、早期建設に向けた要望・提言をいただきました。

事業費および財政負担について

改めて、工事費について8月の実勢価格に置き換えて再計算すると、施設機能を損なわない範囲でコスト削減に努めても、工事費を増額せざるを得ない状況となっています。

ただし、**市民負担を増やすことのないよう**、合併特例債の活用額や公共施設整備基金の投入額などについて財源の調整を行い、また、新規の国庫補助事業を組み合わせるなどして、市の財政負担を軽減できるよう進めます。



9月19日現在の建設予定地

今後について

市民の皆さまからの「市役所本庁舎と市民会館は秩父市の将来のために必要」とする強いご意見、ご要望を重く受け止めるとともに、建設物価の動向や、来年予定されている消費増税の影響なども考慮し、慎重に検討した結果、**建設へ向けては今の時期が最適である**という結論に至りました。

今後は早急に建設工事が開始できるように、建設会社がより参加しやすいような入札条件に改善し、再入札に向けて準備を全力で進めていきます。

市役所本庁舎等建設推進室
☎ 26-6872